

編集後記

編集後記を書くにあたり、特に非開削などに縛られず、自由な内容で！という事なのですが、これがまた難しいもので、本誌の分野や専門性から少し逸れて、最近の我が家の事を書くことにします。我が家は、嫁と長男・次男の4人家族です。しかし、この春に長男は就職、そして次男は大学の進級で一人暮らしをすることになり、それぞれ巣立って行きました。そうです、この春に子供が2人とも一気に家を出ていき、残ったのは私と嫁の二人だけとなってしまったのです。

子供二人が同時に居なくなって気づいたのが、家族の会話が激減した事です。これまで如何に子供を通した家族の会話が多かったのか？今になって実感しています。“子は鏝”とは、本当に良く言ったものです。そこで改めて“子は鏝”の意味を調べてみると、『夫婦仲が悪くても、子への愛情のおかげで夫婦の縁を切らずにいられるということ。』と書かれていました。

本号の特集では「極小口径・小口径管路の非開削建設技術」を紹介しています。管路は下水道だけではなく、電気・通信・ガス・水道と現代生活では欠かせない重要なライフラインを担っていま

す。また、その材質もまたコンクリート管から鋼管、塩ビ管など多岐にわたります。そして、その管路において極小口径・小口径管路は大きなウエイトを占めています。

近年では、開削による管路構築も困難なことが多くなりつつあることを考えると、非開削による管路の建設技術は、管路という重要な構造物を過去から未来へ発展させるための重要な“鏝”となる技術であることは言うまでもありません。

そして、「小型化」「軽量化」「高性能」「高機能化」「高耐久性」と言った技術は、まさに日本が世界に誇るお家芸とも言える技術ではないでしょうか。極小口径・小口径管路における非開削建設技術は、そんな日本の誇れる技術が存分に発揮できる分野の一つであると思っています。読者の皆様には、非開削技術の進化や可能性、開発者や技術者の方々の苦労や努力も感じながら読んでいただければと思います。

あ、そうそう、“子は鏝”の意味に戻りますが、我が家の夫婦仲は決して悪くはない……ハズ。と、私は勝手に思っているのですが……。

（本誌編集委員 河西一嘉）

○機関誌編集委員会

□特別顧問

- ▶森田 弘昭
（一社）日本非開削技術協会会長

□委員長

- ▶尾崎 正明
（公社）全国上下水道コンサルタント協会専務理事

□委員

- ▶浅井 岳春
オリジナル設計株式会社インフラ本部下水道技術一課係長
- ▶植木 貴幸
株式会社組土木本部土木営業部営業推進課長
- ▶小川 仁
芦森工業株式会社機械製品事業本部機械製品営業総括部長

- ▶越智 茂
管清工業株式会社管理本部広報課長
- ▶河西 一嘉
株式会社協和エクシオ土木事業本部土木営業部門課長代理
- ▶鈴木 敬一
川崎地質株式会社戦略企画本部技術企画部課長
- ▶諏訪田浩明
東京電力パワーグリッド株式会社流通土木グループ運営チームリーダー
- ▶津野 和宏
国土総合工学部理工学部理工学系教授
- ▶中川 慶太
（公財）水道技術研究センター管路技術部長
- ▶長島 隆幸
株式会社三水コンサルタント東日本事業本部東日本事業部事業部長

- ▶並木 豊
NTTインフラネット株式会社東日本事業本部アーバンデザインセンター技術担当
- ▶橋本 好弘
積水化学工業株式会社環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部長
- ▶人見 隆
中川ヒューム管工業株式会社常務執行役員技術営業部長
- ▶森 治郎
アイレック株式会社非開削推進事業本部営業部長

○編集スタッフ

事務局長：角川 順洋
編集：大屋 健 ・ 赤坂 誠
安藤 雅洋

No-Dig Today

No.109 2019 Oct. 令和元年10月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
発行所：一般社団法人日本非開削技術協会
<http://www.jstt.jp/>
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
E-mail: office@jstt.jp
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975
発行人：森田弘昭
印刷所：株式会社LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料（税込み）

1冊 1,650円（本体1,500円）〒400円
1ヵ年（4冊）6,600円（本体6,000円）〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術記事

非開削に関連する技術、製品についての技術記事を募集しています。

投稿技術記事は委員会にて選考の上、掲載技術記事には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2019 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。